

第2回「新幹線の地震対策に関する検証委員会」結果概要

日時：令和4年12月14日(水) 17:00～18:00

場所：中央合同庁舎2号館低層棟1階 共用会議室2B (Web併用)

- 冒頭、鉄道局長及び須田委員長から挨拶を行った。その後、須田委員長の進行のもと、配布資料に沿って説明の後、意見交換が行われた。委員からの主な発言内容は、以下のとおりである。

[中間とりまとめ(案)について]

- ・ 中間とりまとめ(案)の内容については、異論はない。

[耐震補強の今後の方向性について]

- ・ 高架橋の優先箇所選定について、曲げせん断耐力比だけでなく構造形式や荷重条件を考慮することは重要。今後は、これらに加え、今回の被害を受けた橋台の破壊形態も考慮した上で、耐震補強すべき箇所の見落としがないかを検討していく必要がある。
- ・ 電柱については、耐震補強に時間を要するため、より短時間で施工できる方法の開発やより簡易な方法で、ある程度被害を軽減するような方策についても考えていく必要がある。
- ・ 今後は新幹線の脱線箇所の検証も重要であり、脱線・逸脱防止対策WGと必要な連携をしていきたい。

- 事務局から説明した中間とりまとめ(案)について了承をいただき、引き続き各WGにおいて検証を進めていくこととした。